



順天堂大学COI拠点 スマートウェア利活用事業採択課題



立命館大学拠点で開発したスマートウェア（衣類型デバイス）をこれからの社会のどのような場で、利活用が可能かについて、多様な職域の教職員・大学院生等から事業提案を募集し、19課題の提案から以下の7課題を採択した。

1.採択課題

No.	氏名	所属	職位等	提案課題
1	高澤 祐治	大学院スポーツ健康科学研究科	教授	脳振盪発症後の競技復帰過程におけるコンディショニング評価への有用性の検討
2	八田耕太郎	精神・行動科学（練馬病院）	教授	スマートウェア活用によるせん妄出現予測と予防を通じたロコモティブシンドローム予防
3	村上 光輝	大学院スポーツ健康科学研究科	大学院 博士後期1年	ボッチャ競技選手のパフォーマンスと身体機能の関連性とスポーツとの関係性について
4	中島 円	脳神経外科学	准教授	特発性正常圧水頭症の検査および治療効果評価としてのスマートウェアの応用
5	立崎 榛華	大学院スポーツ健康科学研究科 （大学院生）	大学院 博士前期1年	異なるヨガ実践による生理機能変化をもとに自律神経活動の推移を比較、検証する。
6	田中颯一郎	乳腺内分泌外科（静岡病院）	先任准教授	乳がん術後、在宅リハビリテーションの新たな試み 副題:患肢の関節可動域リハビリの、スマートウェアによるモニタリング
7	沢田 秀司	COIプロジェクト室	博士研究員	セルフモニタリング型の運動支援ツールの効果を明らかにするためのRCT

平成30年7月23日
COIプロジェクト室